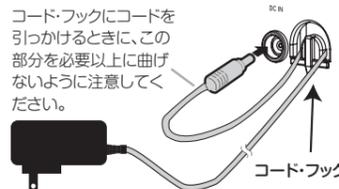


準備

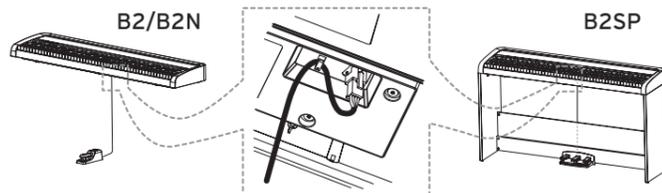
B2SPはペダル・ユニット付き専用スタンドを付属しています。スタンドを組立ててから、以下の手順で準備してください。

1. 付属のACアダプターのDCプラグを、後面のDC IN端子に接続する。

- ACアダプターのコードをコード・フックに引っかけてください。コードをフックから外すときは、無理に引っ張らないでください。



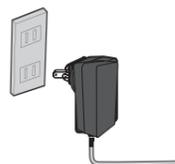
2. B2/B2Nは付属のダンパー・ペダルのコネクタを底面のPEDAL端子に接続する。B2SPはスタンドのペダル・ユニットのコネクタを底面のPEDAL端子に接続する。



3. ACアダプターのプラグをコンセントに接続する。

4. 電源をオンにする。

電源ボタンを長押しして電源をオンにします。電源LEDが点灯します。電源をオフにするときは、電源ボタンをもう一度押し、電源LEDを消灯します。



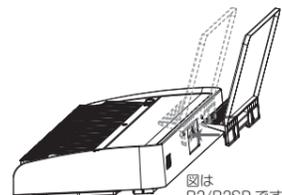
5. 音量を調節する。

実際に弾きながら適度な音量に調節してください。音量ツマミ(VOLUME)は、本体のスピーカーとPHONES端子から出力される音量をコントロールします。



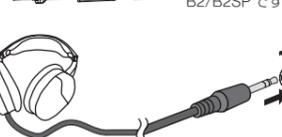
■ 譜面立てを使うときは

後面の譜面立て取り付け穴を使って、付属の譜面立てを装着します。



■ ヘッドホンを使うときは

本体裏面にあるPHONES端子に、ヘッドホンのステレオ・ミニ・プラグを差し込みます。ヘッドホンを差し込むと、本体のスピーカーからは音が出なくなります。



- 本機のPHONES端子は、オーディオ機器やアンプ付きスピーカーを接続する、ライン・アウト端子として使用できます。

ヘッドホンを使用する際は、耳の保護のために大きな音量のまま長い時間聞かないでください。

■ 外部入力機器を接続するときは

他の電子楽器やオーディオ・プレーヤーなどと本体裏面のAUDIO IN端子(ステレオ・ミニ・プラグ対応)を、オーディオ・ケーブルで接続します。入力音は本体スピーカーとPHONES端子に送られます。入力音をUSB-AUDIOから出力することはできません。

外部入力機器の設定によっては大きな音が発生するため、外部入力機器側の音量を調整してください。

■ USB-MIDI、USB-AUDIOを使うときは

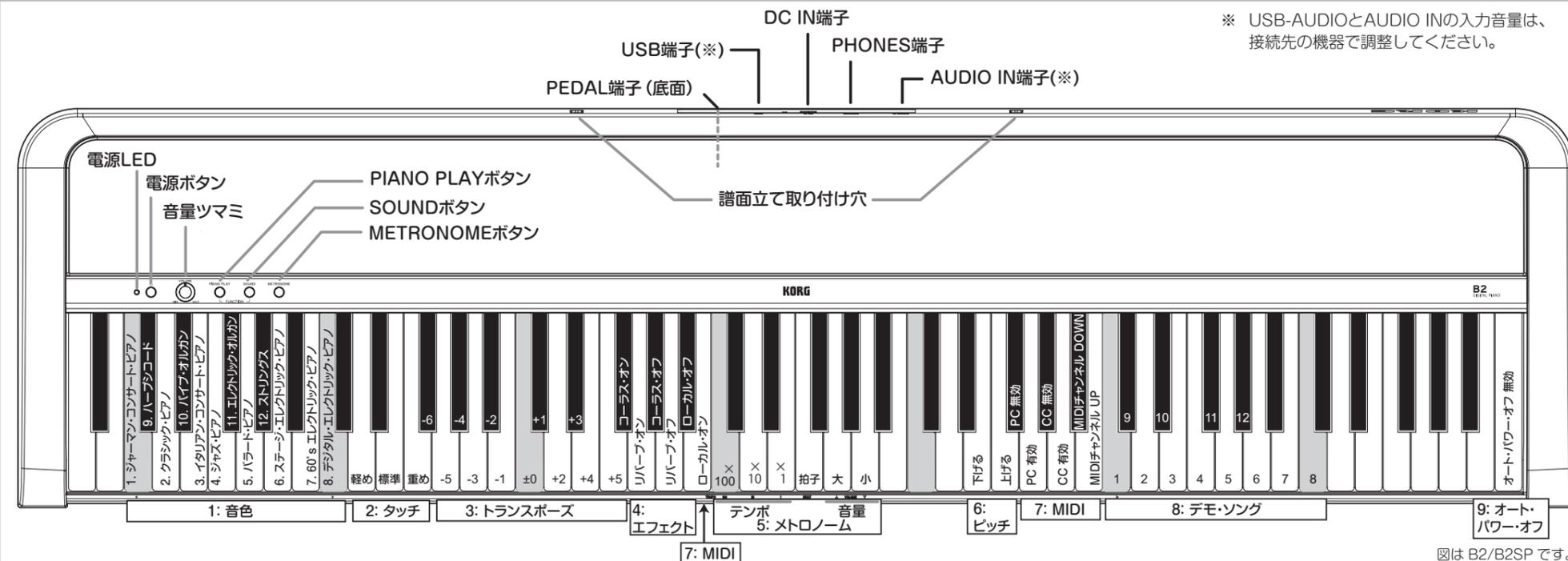
本体裏面にあるUSB端子とコンピューターをUSBケーブルで接続して、MIDIデータやオーディオ・データのやり取りができます。

コンピューターに接続するときは、設定によっては大きな音が発生するため、コンピューター側の音量を調整してください。

初めてWindowsコンピューターに接続すると、自動的にOS内蔵のドライバがインストールされます。WindowsOSの内蔵標準USB-MIDIドライバは、同時に複数のアプリケーションから本機を使用することができません。複数のアプリケーションで本機を同時に使用する場合は、KORG USB-MIDIドライバをインストールする必要があります。コルグ・ウェブサイト(www.korg.com)よりKORG USB-MIDIドライバをダウンロードし、付属のドキュメントに従ってインストールしてください。

複数のアプリケーションから利用しない場合でも、より動作の安定が見込めるKORG USB-MIDIドライバのインストールをお勧めします。

各部の名称と機能



※ USB-AUDIOとAUDIO INの入力音量は、接続先の機器で調整してください。

図は B2/B2SP です。

音色をかえて弾いてみましょう

音色は12種類内蔵しています。

- SOUNDボタンを押すたびに音色が図の1から順番に切り替わります。

1. ジャーマン・コンサート・ピアノ → 2. クラシック・ピアノ → 3. イタリアン・コンサート・ピアノ → ... → 12. ストリングス

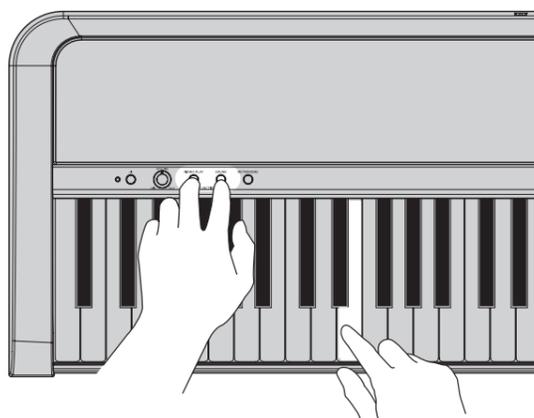
ストリングスの次はジャーマン・コンサート・ピアノに戻ります。

- PIANO PLAYボタンを押すと、どの音色を選んでいてもすぐにジャーマン・コンサート・ピアノの音色に戻すことができます。
- 音色は、「いろいろな機能」の説明にしたがって直接選択することもできます。

電源を入れたとき(初期設定)はジャーマン・コンサート・ピアノの音色が選ばれます。

いろいろな機能

本機は、PIANO PLAYボタンとSOUNDボタンを同時に押しながら特定の鍵盤を押すことで、以下の9個の機能を使うことができます。



PIANO PLAYボタンとSOUNDボタンを同時に押ししているときは、演奏しないでください。予期せぬ設定になることがあります。

1: 音色

SOUNDボタンを押したときと同じように、12種類の音色が選べます。

2: タッチ

鍵盤の重さの印象を「軽め」「標準」「重め」にします。「軽め」では軽く押しても大きめの音が出て、「重め」では強めに押さないと大きな音が出ません。電源を入れたとき(初期設定)は標準です。

3: トランスポーズ(移調)

-6(半音)から-1(半音)、+1(半音)から+5(半音)のいずれかの鍵盤を押すとトランスポーズします。±0を押すとトランスポーズなし(±0)の設定になります。電源を入れたとき(初期設定)はトランスポーズなしです。

4: エフェクト(リバースとコーラス)

音色に残響と深みを加えるリバース・エフェクトや、音色に広がりを与えるコーラス・エフェクトを使用することができます。電源を入れたとき(初期設定)は、各音色での最適な設定になります。

5: メトロノーム

パネルのMETRONOMEボタンを押すたびにメトロノームのオン、オフが切り替わります。電源を入れたとき(初期設定)はテンポ: ♩ = 120、拍子: なし、音量: 10です。

テンポ

鍵盤の「×100」(百の位)、「×10」(十の位)、「×1」(一の位)を押して設定します。たとえば ♩ = 85の場合は「×10」を8回、「×1」を5回押し、♩ = 140の場合は「×100」の位を1回、「×10」を4回押します。PIANO PLAYボタンとSOUNDボタンを離れたときに値が設定されます。設定範囲は ♩ = 40 ~ 240で、それ以外が入力された場合は無視されます。

拍子

「拍子」を押すたびに2/4→3/4→4/4→6/4→なし→2/4→...と設定が変わります。

音量

「小」を押すたびに音量が小さく、「大」を押すたびに音量が大きくなります。設定範囲は1 ~ 13です。

6: ピッチ

ピッチ(音の高さ)の調整範囲はA4=427.5 ~ 452.5Hz(ヘルツ)です。「上げる」、「下げる」を押すたびに0.5Hzごと上下します。「上げる」、「下げる」を同時に押すとA4=440Hzに戻ります。電源を入れたとき(初期設定)はA4=440Hzです。

7: MIDI

ローカル・オン、オフ

ローカル・オン: 本機の鍵盤を弾くと本機から音が鳴り、同時にMIDIデータを送信します。

ローカル・オフ: 本機を弾いても本機から音は鳴りません。MIDIデータだけを送信し、接続先のMIDI機器から音が鳴ります。電源を入れたとき(初期設定)はローカル・オンです。

プログラム・チェンジ

PC無効: プログラム・チェンジを送受信しません。

PC有効: プログラム・チェンジを送受信します。

電源を入れたとき(初期設定)はPC有効です。

コントロール・チェンジ

CC無効: コントロール・チェンジを送受信しません。

CC有効: コントロール・チェンジを送受信します。

電源を入れたとき(初期設定)はCC有効です。

MIDIチャンネル

MIDIデータの送信チャンネルを設定します。「DOWN」を押すたびにチャンネル番号が小さくなり、「UP」を押すたびにチャンネル番号が大きくなります。初期設定はチャンネル1です。

8: デモ・ソング

本機には12種類の音色を使ったデモ・ソングが12曲入っています。デモ・ソングが割り当てられた鍵盤、1 ~ 12のいずれかの鍵盤を押してください。演奏は選んだソングから順番にくり返し演奏します。演奏を止めるときはPIANO PLAYボタンとSOUNDボタンを同時に押ししてください。

9: オート・パワー・オフ

本機は30分以上鍵盤を弾かない場合や自動演奏を再生していない場合に自動的に電源が切れます。この機能を無効にする場合は「オート・パワー・オフ無効」を押します。電源を入れたとき(初期設定)は無効です。無効に設定したあとに有効にする場合は、本機の電源を入れなおしてください。

鍵盤を左側と右側で分けて、2人の演奏者が同様の音域で演奏をすることもできます(パートナー・モード)。METRONOMEボタンを押しながら電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。詳細は下記のコルグ・ウェブサイトから「B2/B2SP/B2N/パートナー・モード説明書」をダウンロードし参照してください。